

3. Summary – 財務分析まとめ②

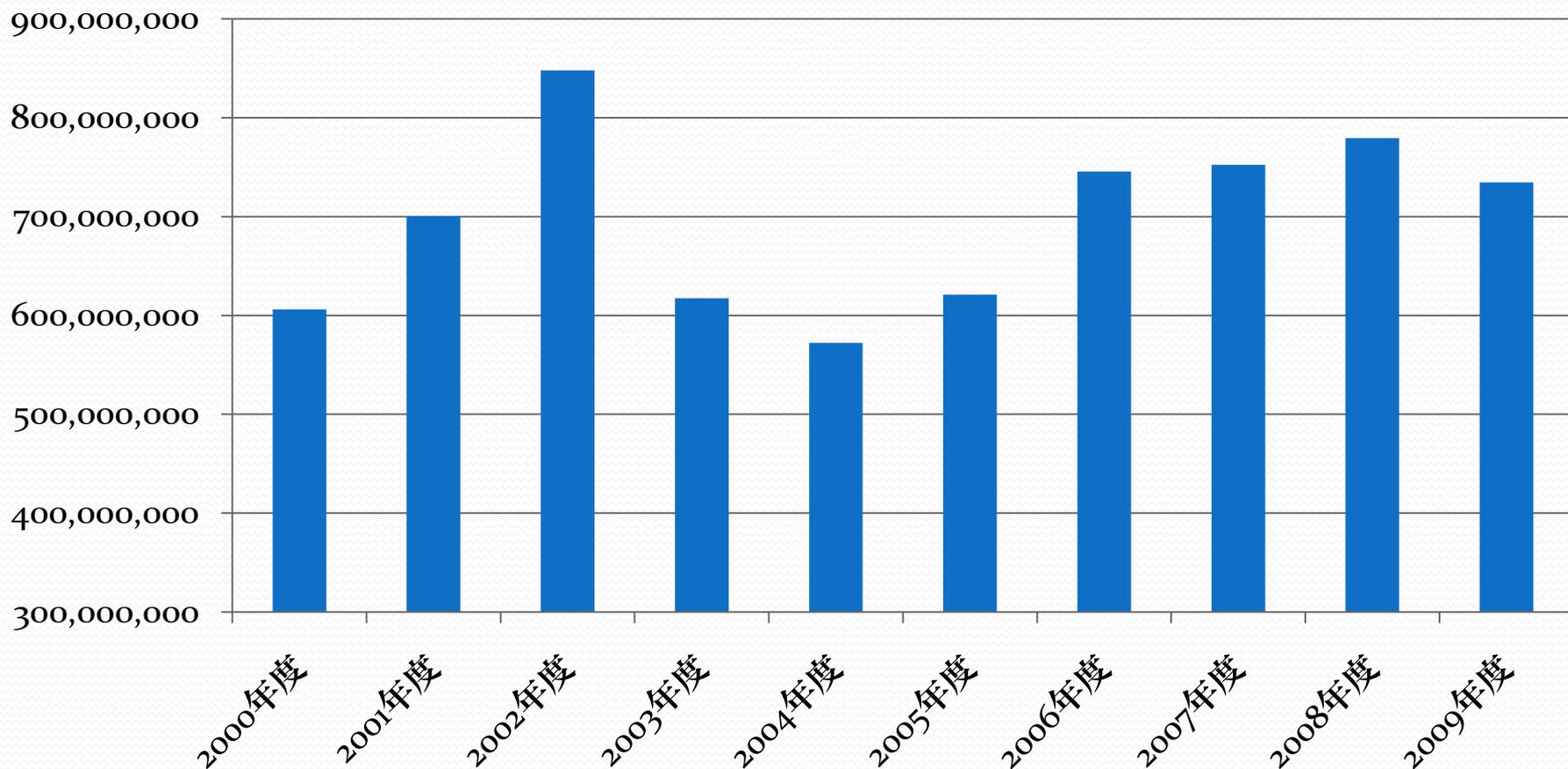
- 資金収支計算書 分析結果

1. 教育研究活動キャッシュフロー 7億円強で安定的に推移
 - 専任教職員数の減少 → 人件費支出の減少
=> キャッシュフローの安定(総人件費の抑制)
2. 財務活動のキャッシュフロー 借入金に依存しておらず、非常に健全な構造

- 部門別(大学・中高)分析結果

1. 財政的には、大学が中高を支える構造
2. 収支はいずれも安定的に推移

教育研究活動CF(2000年~2009年)



3. 結論 & 提言

1. 本学院の財政は、非常に安定的に推移している
 - 学生・生徒数の確保 (= 学納金収入の維持)
 - 今後も学生・生徒の確保のため、教学内容の充実・入試政策の強化において、最大限の努力を継続する必要がある
 - 借入金は毎年、確実に減少
 - 単年度の余剰資金(2009年度) 12.5億円
2. 人件費削減をしなければならない理由は、財務3表からは全く読み取れない (= 正当性がない)
 - 建築物新築・補修のためならば、計画を明示すべき
 - 専任教職員数の減少・非専任教職員数の増加によって、総人件費が抑制される構造となっている

4. 財務三表分析

4. 財務三表分析

- ① 貸借対照表 分析結果
- ② 消費収支計算書 分析結果
- ③ 資金収支計算書 分析結果
- ④ 部門別(大学・中高部)分析 結果

① 貸借対照表分析

② 消費収支計算書分析

③ 資金収支計算書 分析

- 重要用語解説
- 資金収支計算書 分析結果
- まとめ